



南中だより

平成29年 5月15日
東久留米市立 南中学校
校長 川上 智

中学校学習指導要領改訂 平成29年3月31日告示

全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省では、学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準を定めています。これを「学習指導要領」といいます。現行の学習指導要領が改訂され、中学校では来年度から移行期間となり、平成33年度に全面実施となります。改訂等のポイントと本校の対応の一端をお知らせします。

改訂のポイント

1 「何ができるようになるか ー育成を目指す資質・能力ー」を明確化

現行学習指導要領は、各教科等において「教員が何を教えるか」という観点を中心に組み立てられていましたが、新指導要領では学ぶことを通じて「何ができるようになるか」を、すべての教科において以下の三つの柱で構造化し育成を目指す資質・能力として明示しています。

- ①「何を理解しているか、何ができるか」（知識・技能）
- ②「理解していること・できることをどう使うか」（思考力・判断力・表現力）
- ③「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」（学びに向かう力）

2 資質・能力の育成を目指して「目標に準拠した評価」を実質化

すべての教科において、教育目標や内容を上記の資質・能力の三つの柱に基づき再整理したことに伴い、今後、観点別評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点（これまでは4観点（国語は5観点））に整理されます。

本校の対応

1 生徒への指導 思考力・判断力・表現力の育成

上記の育成すべき資質・能力の三つの柱は相互に関係し合いながら育成されるものですが、変化の激しい予測困難な社会の中においても、子供たちが主体性をもって活動し、未来を切り拓いていくために必要な思考・判断・表現力の育成は今後一層重要となります。そこで4月の南中だよりにてお知らせしましたとおり、本校では「書く力の育成」を通して「思考力・判断力・表現力」を育成していきます。

2 教員研修 アクティブ・ラーニング（能動的な学修（学習））の視点による授業改善

教員が学習指導要領の改善及び必要な方策等について理解の深化を図り、学習指導を改善していくために年間を通じて5回の校内研修会を実施します。 ※（ ）内は指導講師

- ①4月26日（校長） ②5月10日（校長） ③5月24日（校長） 【いずれも理論編】
- ④6月28日（東京都教育委員会） ⑤2月14日（東京都教育委員会）【いずれも実践編】

※上記の「改訂のポイント」と「本校の対応」はいずれもポイントと対応の一端です。

交通事故防止について

新年度が始まり都内で子供の重大な交通事故が多発していることから、警視庁より注意喚起の依頼がありました。ご家庭においても「道路への急な飛び出しはしない」「青信号であっても左右の安全確認をする」「自転車に乗るときはヘルメットを被る」など具体的なご指導をお願いいたします。

※「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」（平成 29 年 2 月）により、保護者は 18 歳未満の自転車利用者にヘルメットを着用させる努力義務が規定されています。

弾道ミサイル落下時の対応について

北朝鮮により弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する可能性がある場合は、政府は全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用して情報伝達をします。屋外にいるときは、頑丈な建物や地下街などに避難してください。適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守ってください。屋内にいるときは、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。5 月 1 日の全校朝礼で生徒には、Jアラートの音の確認を含め指導しました。ご家庭におかれましても、万が一の場合は適切な避難行動をとるようにご指導ください。

離任式

4 月 28 日（金）に 3 月末に南中を去られた先生方の離任式が行われました。代表生徒が感謝の言葉を添えて花束を贈呈しました。先生方は南中での思い出や在校生へのメッセージをお話してくださいました。全員で、「校歌」と「明日の空へ」を歌いお別れをしました。お元気でご活躍ください。尚、大塚先生には健康診断の補助を、奈幡先生には男子バスケット部の外部コーチをお願いしておりますので、今後ともまだまだお世話になります。



南中生の活躍

サッカー部

春季市内大会

優勝



男子バスケットボール部

28年度 市内1年生大会

優勝

東久留米市 第24回 英語スピーチコンテスト 28年度 2年 為岡 和香那 2位

かるがも親子の来校

5 月 9 日の午後、南中学校の校庭に生まれたばかりのひよこ 12 匹と親鳥が現れました。ひばりが丘団地の池から訪ねてきたそうで、道中を心配したご近所の方が、元の場所まで運んでくださいました。

